JAICOH NEWS LETTER

NO：83　2020 年 4 月発行

歯科保健医療国際協力協議会
Japan Association of International Cooperation for Oral Health
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1　日本大学松戸歯学部　生化学・分子生物学講座内
URL： http://jaicoh.org/　Email：info@jaicoh.org　Tel: 047-360-9328
郵便振込：00140－9－599601　歯科保健医療国際協力協議会
発行：宮田隆　編集：竹内麗理

第 31 回 JAICOH 総会・学術集会 のお知らせ（第２報）

日　　時： ~~2020年７月４日（土）・５日（日）~~
延期 2021年７月３日（土）・４日（日）（予定）
会　　場： 都内会場

大　会　長： 有川量崇（JAICOH副会長　日本大学松戸歯学部衛生学講座教授）
準備委員長： 竹内麗理（JAICOH理事　日本大学松戸歯学部生化学・分子生物学講座）

主催： 歯科保健医療国際協力協議会　共催： 日本大学松戸歯学部国際保健部

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため一年延期することにいたしました。参加予定の皆様におかれましてはご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。来年開催時にまた何卒よろしくお願いいたします。

2019 年 秋期 研修会

講　師：　小川 祐司（おがわひろし）
　　新潟大学大学院医歯学総合研究科教授
　　WHO 世界保健機関協力センター長(新潟大学)

テーマ：　「2030 年に向けての口腔保健(オーラルヘルスプロモーション)戦略」

日　時：　2019 年 11 月９日（土曜日）17:00-19:00
会　場：　ワイム貸会議室 お茶の水

プレ講演：「歯科医学教育における国際保健の重要性～書を捨てよ、世界へ出よう！～」
　　有川 量崇（JAICOH 副会長）17:00-17:30

2019 年 JAICOH 研修会 に参加して

日本大学松戸歯学部国際保健部　小黒 裕之

今回の研修会は学生の身からすると特に、とても意味のある話を聞くことができた。新潟大学の小川祐司先生の講演「2030 年に向けての口腔保健（オーラルヘルスプロモーション）戦略」はとても興味深かった。小川先生は今年の APDSA で講演されていたので、先生の話を聞くのは２回目でしたが、松戸歯学部の先輩にあたることは初めて知りました。

私は元々歯学部志望ではなかったので、入学当初の歯科に対するイメージは町の歯科医院で止まっていました。しかし、入学して様々な授業を受けていくことで、まず歯科の中に多くの分野があり、さらに医科との連携、介護の分野での役割など歯科のイメージは入学当初に

考えていた町の歯科医院から大きく広がっていき、こんなにも幅広いフィールドがあるのだと驚きました。そこに今回の講演で小川先生の WHO 時代の話を聞いて、歯科のフィールドにまだ先があることを知りました。国連が提唱している SDGs の中でアマルガムの削減について考える際に環境団体と話す機会があったと話されているのを聴いて、医療の分野を超えた活動もあるのかと世界が広がったように感じました。

これから先の学生生活は国家試験への勉強がメインになっていくとは思いますが、国家試験の先の広い世界を見据えつつ過ごしていき、卒後国際保健に携わってみたいと思うので英語の勉強などできるところから少しずつ準備していこうと思います。

JAICOH 研修会：小川祐司先生の講演会に参加して

神奈川歯科大学国際医療ボランティア研究会　葛生 悠貴

令和元年 11 月９日（土）御茶ノ水にて行われた JAICOH 研修会では、“2030 年に向けての口腔保健（グローバルヘルスプロモーション）戦略”というテーマで、WHO 世界保健機関にて勤務経験があり、現在、新潟大学にて WHO 世界保健機関協力センター長としても活躍されている、小川祐司教授による講演が行われました。

近年、国連が提唱している 2030 年までの持続可能な世界開発目標である SDGs について取り上げられることが多くなったりと、グローバル社会と呼ばれる社会の中で、世界に目を向ける機会は増えているように感じていました。実際に歯科の分野が保健や福祉にどのように関与しているのか、どのような役割を果たしているのかということについて学びたいと思い、参加させていただきました。

講演会の内容はとても興味深く、主に①WHO が目指す口腔保健について、②これから歯科関係者はどのようなことをしていくべきなのか、どのようなことをすることができるのか、という２つのことについてお話をいただきました。

①では、WHO とはどのような機関なのかということから始まり、NCDs の原因としてフリーシュガーの摂取や、喫煙、飲酒をあげ、それに対し、WHO は砂糖摂取量のガイドラインや、簡易禁煙支援プログラムの作成を行うとともに、口腔と全身の関連性についての普及を進めようとしているということを学びました。

また、②において特に印象に残っているのは、一方的な情報提供のみで終わらせることなく、日本の歯科医療従事者みんなで何が

できるのかということを考え、研究し教育していく必要がある、という先生が最後におっしゃっていた言葉です。

今回の講演会に参加し、口腔保健というものについて、まだまだ知らないことが多いということを実感しました。日々、勉学に励む中で、口腔保健というものに目を向け、様々な視点を身に付けることで、将来に生かしていきたいと感じています。

最後に、今回、貴重なお話をして下さいました小川祐司教授をはじめ、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

活動報告

2019 年９月ウランバートルでの歯科保健予防活動（９月４日～11 日）

参加者：黒田、オトゴントヤ
エネレル歯科看護師２人（サラントヤ、エンヒジャルガル）
歯科医師３人（ナャンデンエレデネ、ムンフズル、アンハツェツェグ）
歯科助手１人（サウガージャルガル）

活動日程：
9/04(水)；エネレルで診療
9/05(木)；障がい者施設「シャルハット」での歯科活動
エネレルで診療
9/06(金)；小学校で歯科予防活動
障がい者親の会の保護者対象に予防セミナー
9/07(土)；「在宅障がい者親の会」の歯科治療（国立医科大学小児歯科診療室で）
9/08(日)；エネレルで記念植樹
9/09(月)；幼稚園で歯科予防活動
9/10(火)；エネレルでセミナー
9/11(水)；日本へ帰国　08：40 発（OM301）インチョン着 12：50
インチョン発 15：20（KE725）関空着 17：15

障がい者施設「シャルハット」での歯科活動；

2002 年から続けている歯科治療と口腔ケア活動を今回も行いました。介助者の交代などで、口腔清掃状態は一進一退ですが、障がい児達とはかなり顔なじみとなり、歯磨き時の受け入れはよくなっています。

10 人に対して、３人には歯磨き・フッ素塗布のみ、３人には除石・フッ素塗布、４人には 15 本の充填（13 本は C2 歯、２本は C3 歯でビタペックス＋アイオノマーセメント充填）を行いました。

エネレル歯科小児歯科での診療指導；

エネレル歯科の小児歯科で治療指導と実習を行いました。治療姿勢や開口のさせ方・保持、無痛的浸麻の仕方、ラバーダム、乳歯冠など。今、小児歯科医長（来日研修したヘルレン先生）が産休

で休んでいるため、みんな若い先生達ばかりになっています。各先生のアポを 30 分に１人として、実際に治療指導も行いました。

<u>小学校での歯科予防活動；</u>

今年から新しくエネレルの近くの私立小学校「シルデッグ」で２年生 25 人を対象に、歯科保健予防活動を行いました。歯科検診、歯磨きとフッ素塗布、サラさんによる虫歯予防学習「虫歯のでき方、虫歯ができやすいおやつと出来にくいおやつ、歯磨き法など」。

検診結果；２年生(７才)25 人；虫歯無２人、虫歯有 23 人。う蝕罹患者率 92.0%。一人平均 C2 以上・F・M 歯数 9.3 本。治療済み歯数 77 本。

「在宅障がい者親の会」保護者対象の予防教室；

「親の会」の事務所で 21 人を対象に、18 時から「虫歯予防、歯磨き法等」のセミナーを行いました。いつもの保護者と新しい保護者も参加しました。

「在宅障がい者親の会」の歯科治療と、医科大学研修生への診療指導と実習（医科大学で）；

９時～13 時、国立医科大学小児歯科診療室で、「親の会」障がい児 13 人の歯科治療を行いました。医科大学の先生と研修生たちも診療補助と見学をしました。４人には歯磨き・フッ素塗布、９人には 19 本（13 本充填、２本乳歯冠、１本シーラント、３本根管処置）の処置を行いました。

14 時～15 時 30 分、研修生のうち希望者一人に、無痛的浸麻の打ち方、ラバーダム、開口のさせ方などを実演し、その後医科大学研修生 15 人を対象にカンファレンスとセミナーを行いました。

エネレル歯科で記念植樹セレモニー；

エネレル歯科が、裏の駐車場に薬局となる建物を建てたこともあって、これまでエネレルで働き今は開業している先生達を招待して、塀際に記念植樹とパーティを行いました。

幼稚園での歯科予防活動；

　これも新しく第 50 幼稚園で、３才児２クラス 71 人を対象に歯科予防活動を始めました。歯科検診、歯磨きとフッ素塗布、人形劇、先生 12 人への虫歯予防教室、保護者 18 人への虫歯予防教室。

検診結果；（３才）71 人；虫歯なし４人、虫歯あり 67 人。う蝕罹患者率 94.4%。一人平均 C2 以上・F 歯数 5.8 本

先生達への虫歯予防教室

保護者への虫歯予防教室

<u>エネレル歯科でセミナー；</u>

17：30～20：00、エネレル歯科医師達へ臨床カンファレンスと小児歯科診療についてセミナーを行いました。

<u>戦勝記念塔からのウランバートル市内；</u>

2019 年８-９月アルハンガイ県での歯科保健予防活動（８月 30 日～９月３日）

参加者：木戸先生御夫妻、黒田、オトゴントヤ
　　エネレルからサンントヤ、ナンリャ（歯科医師）

活動日程：

8/28(水)；関空から直行便 OM506 で出発 14：50――ウランバートル着 18：40
8/29(木)；アルハンガイ県での活動準備
8/30(金)；アルハンガイ県ツェツェルレグへ車で出発、温泉で宿泊
8/31(土)；10:00～13:00　20 名の子どもたちの歯科治療
　　15:00～17:00　地元の歯科医師たちへセミナー
9/01(日)；10:00～12:00　幼稚園の保護者たちへ虫歯予防講話
　　14:00～17:00　幼稚園の先生 75 人、保健師＋家庭医 25 人への
　　虫歯予防講話、人形劇作成、歯磨き（介助方法も）指導
9/02(月)；09:00～12:00　幼稚園児 75 人の検診、歯磨き指導＋フッ素塗布、人形劇
　　14:00～15:30　小学校の先生達へ虫歯予防教室
　　（予防、歯の働きと大切さ、歯の交換など）
9/03(火)；ウランバートルへ車で帰る
9/04(水)；休日、木戸ご夫妻は帰国

県保健局ガンディマさんからの依頼で、ツェツェルレグでの歯科保健予防プロジェクトに参加しました。これまで、アルハンガイ県では６回の歯科予防活動（ツェツェルレグ市では１回、田舎で５回）を行っています。今回小学校の先生達の中で、５年前の活動に参加し覚えていてくれた先生もおられ、“継続は力“を感じました。今回は、行政主導で、歯科医師（歯科関係）、幼稚園・小学校の先生（教育関係）、保護者、園児、テレビ・新聞（メディア）が一緒になって、子ども達の虫歯を減らすプロジェクト（学校保健）の始まりをお手伝いしました。モンゴルとの歯科医療交流の当初から、子どもを取り巻く多くの職種の人達が協力して、う蝕予防プロジェクトを行う形を目指していたので、今回の活動は感慨深いものになりました。

今年は９月１日が日曜日でしたが、モンゴルでは新年度の開始は日曜日でも入学式や新年度の式が行われ、多くの子ども達や保護者も参加して実ににぎやかなお祭りでした。

<u>現地歯科医師への歯科治療実演と指導、セミナー；</u>

県立病院の小児歯科診療室で、現地歯科医師 11 人（県立病院の歯科医師と開業医）を対象に、午前中に 11 人の子ども達への歯科治療を実演、指導しました。午後には、小児歯科治療についてのセミナーを行い質問に答えました。同じ町にいながら初めて会う歯科医師達もおり、とても良い機会になったと喜ばれました。

11 人の歯科治療 25 本；レジン・セメント充填 18 本、シーラント３本、乳歯冠４本。

幼稚園の保護者へ虫歯予防講話；

今回活動対象となった幼稚園は、熱心な園長先生が自ら希望されて選ばれました。これまでも健康に関する様々な取り組みを行っている園だそうです。一人の開業医に園児の歯科治療を依頼しています。今回は、新しく入学した３才児の保護者達 74 人へ、木戸先生が虫歯予防教室を行い、「虫歯予防パンフレット」と歯ブラシをプレゼントしました。

幼稚園先生、保健師＋園医への虫歯予防講話、人形劇作成、歯磨き（介助方法も）指導；

アルハンガイ県ツェツェルレグ市の公立 13 園の先生 92 人、保健師と園医 25 人合わせて 117 人が参加し、黒田から虫歯予防講話を、木戸先生から歯磨き（介助方法も）についてセミナーを行いました。

この日は、午前中に入学式典があり、忙しかったにも関わらず、本当に多くの先生達が参加してくれました。やはり行政主導の力と思われます。

その後、78 人が８つのグループ（13 の幼稚園と園医たち）に分かれて、エネレルで作成した虫歯予防人形劇を見てもらい、それぞれ配布したシナリオと媒体素材で作成、実演を行いました。作ったものを園に持って帰ってもらい、子ども達に演じてもらうよう約束しました。参加者はみんな、大変熱心で、全グループが実演したがっていましたが、時間がなく３グループだけになりました。全員に虫歯予防パンフレットを、各園に歯磨き絵本と介助磨き DVD をプレゼントしました。

<u>幼稚園児 102 人の検診、歯磨き指導＋フッ素塗布、人形劇；</u>

２、３、４才児 102 人を対象に歯科検診、歯磨きとフッ素塗布、人形劇（全園児）を行いました。

検診結果；

2 才児 46 人；虫歯なし 29 人、虫歯あり 17 人。う蝕罹患者率 37.0%。一人平均 C2 以上歯数 3.8 本

3 才児 33 人；虫歯なし　2 人、虫歯あり 31 人。う蝕罹患者率 94.0%。一人平均 C2 以上歯数 5.1 本

4 才児 23 人；虫歯なし　2 人、虫歯あり 21 人。う蝕罹患者率 91.3%。一人平均 C2 以上歯数 8.0 本

小学校の先生達へ虫歯予防教室（予防、歯の働きと大切さ、歯の交換など）；

この日は、実際に学校が始まる日であったためか、先生たちの集まりが悪く参加者は 31 人でした。木戸先生から虫歯予防、歯の働きと大切さ、歯の交換などを、黒田から虫歯の為害性、虫歯予防などについて話し、虫歯予防パンフレットを渡しました。

現地歯科医師達の招待による夕食会；

現地の歯科医師達が、８月 31 日のセミナー・治療実演だけでなく、いくつかの活動にも参加してくれました。その先生達の招待での夕食会の際、開業している男性の先生が、自分たちも一つの幼稚園を担当して虫歯予防活動や歯科治療を行うと言ってくれました。また、今育休で歯科医師のいなくなったエルデンマンダル村へも年に何回か歯科治療に行きたいとも言ってくれました。今回の活動は現地の歯科医師達にも影響を与えられたと思います。県から、感謝状とメダル、記念品も頂きました。

温泉地で宿泊；

アルハンガイ県にある温泉保養所で１泊しました。ここは、20 年近く前にも訪れましたが、その時は日本に留学していたモンゴル人が開いた１軒だけの施設がありましたが、今はいくつもの宿泊施設があり、外国人たちがいっぱい来ていました。

2019/ 8/30

2019年７月モンゴル歯科保健予防活動（７月17日～24日）

参加者：日本から８人（速見、今岡、北川、木村、橋野、手塚、益田、黒田）
現地では、
エネレル歯科医院から、サラントヤ（サラ）、ビャンバ歯科医、バイラ―事務長等
国立医科大学から、デジゲルツェツェグ先生、他数人の大学研修生
「24時間歯科医院」から、理事長以下、歯科医師４人
ヘンテイ県ウムンデルゲル村では、デジゲルツェツェグ先生のお母さん（内科医）他

活動日程：ウムノデルゲル村では、17日からデジゲルツェツェグ先生達が村人の歯科治療中。
7/17（水）；関空発14：20――MIAT（モンゴル航空）――ウランバートル着18：00
7/18（木）；車でヘンテイ県ウムンデルゲル村へ
（ウランバートルから約240kmは舗装道路、約60kmは未舗装道路）
途中でチンギスハーン像の観光
7/19（金）；ヘンテイ県ウムンデルゲル村で、子ども達への歯科活動
AM；・保護者；虫歯予防講話
・子ども達（104人）；歯科検診、歯磨き指導、フッ素塗布、人形劇、歯科治療
PM；村人・子ども達の歯科治療
7/20（土）；
AM；成人対象（103人）に、健康チェック（体重・身長・体脂肪率、血圧測定、尿検査）
PM；村人・子ども達の歯科治療、他の日本人参加者は遊牧民ゲルで乳製品づくりの見学
N ；歯科医師達へ勉強会
7/21（日）；ヘンテイ県バルダンベレーベン寺で観光（昔のラマ寺院）
２か所の遊牧民ゲル訪問（デジゲルツェツェグ先生のお母さんの知人で昼食や夕食を頂く）
7/22（月）；ウランバートルに帰って来る。
途中、草原の真ん中に湧き出る炭酸水の泉。草原での昼食
7/23（火）；ウランバートル市内観光（エネレル歯科医院見学、ガンダン寺、ゴビのカシミヤ工場やデパートでショッピング）
夜は民族伝統コンサート
7/24（水）；帰国のためウランバートル発08：20――MIAT――関空着13：20

チンギスハーン像テーマパーク

チンギスハーン像テーマパークは、ウランバートルから東へ 54ｋｍ離れた美しい自然の風景で彩られたトゥール川の高台に位置し、ツォンジン・ボルドグと呼ばれている記念の場所は同時代の歴史を共有しています。テーマパークの面積は 212 ヘクタ ール、中央に高さ 30mの馬像がそびえ、その円形の台座は高さ 12m・直径は 30m あります。チンギスハーンがある時、この丘の上で馬用のムチを見つけ拾いました。

モンゴル人男性にとって、ムチを見つけるというのは縁起の良いことなので、「これで自分の望みはかなう」とチンギスハーンは確信し、その後の大躍進を遂げたと伝えられています。リクリエーションエリアにはハーンの博物館、展示場、レストラン、バー、土産物店、会議場などが馬像の中央に位置します。先見性に優れたハーンの右手には黄金の鞭が握られています。訪問者は馬像館より馬の後部に設置されているエレベータで馬のうしろの部分まで上がり、さらに胸の部分を通り抜け、首を通り馬の頭部に到着し展望窓からテーマパーク全体や周辺の自然風景を眺める事ができます。

ヘンティ県ウムヌデレゲル村

ウムンデルゲル村はウランバートル市から 300km、ヘンティ県チンギスハーン市から 110ｋｍ離れ、モンゴルのヘンティ山脈の南部に位置し、面積は 10,889,892,000 ㎡で全国にある村の５番目に入っているそうです。今年、家畜の数が約 530,000 頭で全国１位になったそうです。人口は約 5,700 人、子ども（０～15 歳）は約 1,800 人。幼稚園は２つ、小学校、中学校、高校が１校あるそうです。

バルダンベレーベン寺

今回観光に行くバルダンベレーベン寺 Baldan Bereeven Monastery は、モンゴル国、Khentii、Baruun Jargalant River 渓谷 Ömnödelger 地区にある Gelugpa（Yellow Hat）仏教僧院です。1654 年に創立されたこの修道院は、1850 年までにその主要な寺院が改装されたとき、19 世紀半ばでは高さ（真ん中の柱 12m）でモンゴルで最大かつ最も重要な教育修道院としての頂点に達しました。そこには４つの独立した大学と 20 以

上の寺院があり、修道院の人口は 8,000 人近くに達しました。修道院と寺院は 1937 年にモンゴルの共産主義体制によって破壊されましたが、今日では３つの寺院が修復され、根拠には 50 近くの寺院、仏塔、その他の宗教的建造物が残っています。

ガンダン寺院

ガンダン寺はモンゴル最大規模の重要仏教寺院です。5,000 人にも及ぶ僧侶を擁し仏教教義を学び実践する教育施設ともなっています。ガンダン寺で最も人気のある仏像は、26.5 メートルの高さを誇る立仏・グジェド・ジャンライシグ観音像で、その観音堂には多くの人が参拝に訪れます。
初代の大仏像は 1911 年に建立され、悲しい事に 1938 年に共産主義者の手により破壊(廃仏毀釈)されました。しかしその後、1996 年再建の機運が高まり、多くのモンゴル人篤志による寄付金が寄せられ、再び建立されました。首都西方のエルデネット鉱山産出の銅を使用し、金箔仕立ての極めて美しい二代目仏像として蘇ったのでした。

ウムンデルゲル村での歯科活動；

デジゲルツェツェグ先生はこの村の出身で、毎年２ヵ月毎に（今は大学が忙しく夏休み中に）村人達の歯科治療を行っています。今回は私達が行くことで、大学の先生や開業医の応援を得て４日間ほどで 280 人ほどを診療したそうです。我々も研修も兼ねてお手伝いし、麻酔の仕方、ラバーダム、乳歯冠、乳歯の根管治療、開口の仕方などを実演しました。

村の子ども達の検診・歯磨き・フッ素塗布・人形劇、保護者への虫歯予防講話；

子ども達を対象に歯科検診、歯磨き、フッ素塗布、人形劇を行い、子ども用歯ブラシをプレゼントしました。また、保護者へは、虫歯予防の講話を行い、パンフレットと大人用歯ブラシを配付しました。

検診結果；

104 人、１～15 才、虫歯なし 13 人、虫歯罹患者数・率（C2 以上、治療歯）91 人・87.5%
C2 以上：356 本、C3,4：99 本、治療歯：62 本、一人平均用治療虫歯数：5.7 本／91 人
一番虫歯の多い子は、５才の女の子で虫歯が 16 本で、その内神経まで進んだ重症虫歯が７本

保護者への虫歯予防教室

子ども達への人形

歯科検診　　歯磨きとフッ素塗布

村人・子ども達の歯科治療；

デジゲルツェツェグ先生や大学の先生、開業医たちによる歯科治療が行われていました。黒田も、エネレルスタッフと共に子ども達（障がい児を含む）の歯科治療を手伝い、特に浸麻やラバーダム、乳歯冠、感染根管治療などの指導を行いました。

成人対象に、健康チェック（体重・身長・体脂肪率、血圧測定、尿検査）；

約 100 人の村人たちの健康チェックを行いました。前日から会場設営や役割分担を行い、結果通知用紙も準備しました。村人の結果は、村の先生であるデギー先生のお母さんに渡し、生活指導に役立ててもらいます。

健康チェック結果；

人数：103 人、男性 20 人、女性 83 人、17～84 才（平均年齢 45.3 才）

身長：143～180ｃｍ、平均 158.8ｃｍ

体重：39～130ｋｇ、平均 73.1ｋｇ

体脂肪率：15.1～55.5、平均 33.8

血圧：76～189／47～119、平均 12.2～80.2

ウロペーパー検査：タンパク＋4 人、pH 4～7(平均 5.8)、尿糖＋4 人、赤血球＋21 人(内＋＋2 人)

ソルトペーパー尿検査：平均 13.5（14 が 80 人、12 が 21 人、８が２人）

簡易血中糖：平均 2.6／95 人（３人が 22.2、17.8、26.3 あり、尿糖も＋）

受け付け　　尿チェック・尿塩分チェック

身長・体重測定　　体脂肪率測定

体脂肪率測定　　血圧測定

簡易血糖値測定　　結果説明

<u>歯科医師達へ勉強会；</u>

参加した歯科医達へシーラントやサホライド塗布等のセミナー

<u>村長から村と県からの感謝状贈呈、村の近辺の観光など；</u>

若い村長から感謝状とメダル　　サラさんにも贈呈　　日本から虫歯予防パンフレット等寄贈

村長さんと

村主催で歓迎食会

頂いた感謝状と記念品

一面のお花畑

野イチゴ積み

花のじゅうたんのような草原で

バルダンベレーベン寺

残っている仏像

寺院の僧侶から解説

遊牧民ゲルで食事

伝統料理ホルホックで歓迎

手作りチーズ

村の表札の前で参加者集合写真

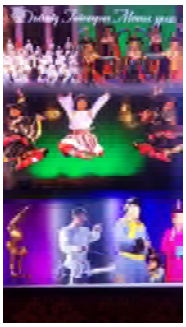
自然の炭酸水泉

ウランバートルに帰る途中の昼食

エネレル訪問

ジンギスハーン像で

ガンダン寺


民族コンサート

夕食（しゃぶしゃぶ）

事務局より

会費納入をお願いします！

ニュースレター・NGOダイレクトリーによる国際歯科保健医療協力に関わる情報提供など、本会の事業は皆様から納入いただく会費によって運営されています。つきましては、会費納入にご協力賜りたくお願い申し上げます。

年会費は、正会員：5,000円／年、賛助会員：一口10,000円／年、学生会員：無料（登録制）です。JAICOHの年度は４月１日から３月31日です。

会費納入先（郵便振替）　　口座；００１４０－９－５９９６０１
　　名称；歯科保健医療国際協力協議会

他金融機関からの振込用口座番号
　　〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座；０５９９６０１

メーリングリスト（JAICOH－ML）に登録・投稿してください！！

JAICOH では、歯科保健分野における国際協力や地域保健に関するメーリングリスト（JAICOH-ML）を運用しています。JAICOH 会員の方はもちろん、JAICOH 会員ではなくても、登録することができます。情報交換や、各種研修会等のお知らせにも使用しておりますので、各団体の活動報告や参加メンバー募集、学生向けのスタディーツアーへの募集のお知らせなどに、ぜひご利用ください。

なお、この ML には、JAICOH 会員に限らず、歯科保健分野における国際協力、国際保健、地域保健に関心のある方は誰でも無料で登録が可能です。歯科医師や歯科衛生士だけではなく、他の医療職、医療と直接関係ない方や学生も OK です。

ML 登録をご希望の方や問い合わせは、１．氏名、２．所属、３．メールアドレスを、JAICOH 事務局 ML 担当・門井謙典（jaicoh-admin@umin.ac.jp）まで送信ください。数日で手続きいたします。よろしくお願いいたします。

COVID-19 は私たちの日常生活を一変させ、社会活動にも多大なる影響を及ぼしました。JAICOH も例外ではなく、30 年の歴史において初めて総会・学術集会の延期を余儀なくされ、また 2020 年度の活動も停止です。

しかしながら、今号は幸いなことに、新型コロナウイルスが猛威を振るう前の JAICOH 関連の原稿で作成することができました。執筆者の方々にはこの場を借りまして御礼申し上げます。有り難う御座いました。

今号の主な内容は、2019 年・秋期研修会およびモンゴル歯科保健予防活動です。ご一読のほど宜しくお願いいたします。

運営方針へのご意見がありましたらお寄せください。よろしくお願いいたします（竹内）。